

地域情報コーナー②

生き物と暮らし

今回も西原町立図書館内の地域情報コーナーを紹介します。「にしはらを知ろう!」のなかの「生き物と暮らし」では、約300種類の植物や動物が、西原の人々の生活にどうかかわっていたのか調べることができます。



そして、それぞれの生き物の生息する場所、特徴などが書かれたページへ進みます。写真は、いつも、どの辺で写したものか記入されていて、生き物たちのさまざまな姿をみることができます。

「生き物と暮らし」では、「生活知識」に分類された「暮らしでのかかわりは?」では、

いるだけでも興味がひろがっていくかもしません。



「産」「生活知識」に分類された「暮らしでのかかわりは?」では、

「生き物と暮らし」に分類された「暮らしでのかかわりは?」では、

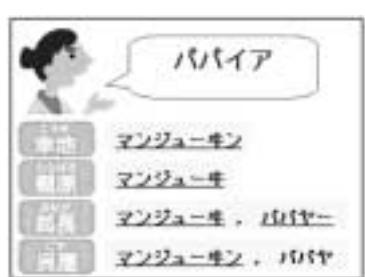
たとえば、「生活知識」から「オオハマボウ」を選択すると、葉をトレイレットペーパーのようにお尻りをふくのに使った、といったことがわかります。



「域の方言で何と言ったかな?」の次画面で下線のついた文字を押す

と、方言の音声が聞こえます。

声の大きさや発音の速さによって聞き取りにくいものもありますが、ひとつの中語が、字によって違う形で呼ばれたり、また、同じ形で呼ばれてもアクセントが違っていたりとおもしろい発見がありますよ。



現在は、生活でのかわりが少なくなってしまった生き物も多いのですが、生き物たちの特性をよく観察して、実用的に、ユニークに生活のなかに取り入れていた人々のようですが、かがえるのではない



寄贈ありがとうございました!

かと思します。来館時にはぜひご覧下さいね。

字小波津在住の吳屋仁清さんより、ホヤランプを寄贈していただきました。高さ約40cm、重さ650gで、戦前から戦後にかけて使用していたものだそうです。ホヤランプは石油を燃料にして明かりをつけます。ガラスについたすすをそうじするのは、子どもたちの仕事でもあったといいます。すぐ手や顔が黒くなったり経験をされた方もいらっしゃるのではないかと想します。